

推薦：財団法人全日本交通安全協会

文部科学省選定

「自転車も車両」
これを意識すると、
自転車に乗る人はもちろん
ドライバーや歩行者の、交通ルールや
マナーに対する考えと行動が変わります。

自転車も車両です

～交通安全への意識改革～



直進自転車と
右折車の衝突
(CG映像)

脳は豆腐と同じように
衝撃に弱い
(イメージ映像)

オランダでの
撮影風景

¥63,000 (税込)
VHS・DVD [カラー 21分]

字 DVDには字幕付き映像も
収録されています

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101

お申し込み
お問合わせ



自転車も車両です

～交通安全への意識改革～

¥63,000 (税込)

VHS・DVD [カラー 21分]

(DVDには字幕付き映像も収録されています)

制作意図

- ◎ 私たちは、ある時は自転車に乗り、ある時は車を運転し、ある時は歩行者として道路を利用します。
「自転車も車両」と意識し交通ルールを守ることによって、自転車に乗る人は勿論ドライバーや歩行者の交通安全につなげることを推進します。
- ◎ この作品は自転車に乗る人をはじめドライバーや歩行者に、「自転車も車両」という意識と責任感を持たせ、安全ルールの基本である自転車安全利用5則を理解させ、法規とマナーを守ることの大切さを描いています。
- ◎ これに加えて、交通事故防止に役立つ3つの重要なポイント
①「かもしれない」運転 ②車の特性の理解 ③「思いやり」運転
を具体的に紹介して、さらなる事故防止を目指します。

内容

- 交通ルールとマナー無視の自転車が目立つ。
- 自転車事故が急増! 自転車が歩行者を死傷させる事故も多発している。
- 自転車が関係する交通事故現場の映像
- 「自転車も車両」という意識を持ち、違反と罰則を理解しよう。
- 自転車安全利用5則は、安全ルールの基本。
これを理解することは、自転車に乗る人だけではなく、ドライバー、歩行者にとっても交通安全に役立ちます。
- 自転車に乗る人、ドライバーにも役立つ交通事故防止3つのポイント
 - ①「かもしれない」運転。自分勝手な「大丈夫だろう」運転は事故につながる。「危険があるかもしれない」と危険を予測し、それに対処する「かもしれない」運転で事故を防ぐ。
 - ② 車の特性(死角、内輪差)を知り事故を防ぐ。
 - ③「思いやり」運転。相手が安全に行動しやすいようにしてあげる「思いやり」運転で相手と自分の安全を守り事故を防ぐ。

- 「自転車も車両」の意識が高い自転車普及国オランダとドイツの自転車事情
- 交通評論家、矢橋昇さんが語る自転車の交通安全。
交通ルールを守り、「自転車も車両」の意識と責任を自覚し、思いやりの心で、環境にやさしい乗り物、自転車を上手に乗りましょう。
- 脳損傷の専門医、富田博樹先生が語る頭部保護の大切さ。
人間の脳は豆腐のように壊れやすいので、自転車に乗る時はヘルメットを着用して脳を守りましょう。
- 自転車の交通事故に遭い、高次脳機能障害になった方のリハビリの姿
- 多くの人がある時は自転車に乗り、ある時は車を運転し、ある時は歩行者として道路を利用するのでそれぞれの立場がわかる筈です。常に相手が安全に行動できるようにと思いやりながら道路を使用するならば、この交通社会は、より安全で、気持ちのよいものになり、交通事故防止につながることでしょ。

企画 斉藤宏子 制作 川合隆之 監督 鈴木 浩 撮影 市川任男
助手 遠山慎二 協力 富田博樹(武蔵野赤十字病院 院長) 矢橋 昇(交通評論家)
NPO法人 東京高次脳機能障害協議会(TKK) ファルマン運輸株式会社

監修・指導 大久保 堯夫(日本交通科学協議会 会長)

(株)オプチカル 販売課 教育映像係
香川県高松市屋島西町2484-8
TEL 087-841-1100
FAX 087-841-1101